

川南町を酔芙蓉で染めようプロジェクト

口蹄疫が終息した8月終わりに、川南町国道10号線に咲いていた酔芙蓉。
朝は白くて、陽射しを浴びてピンクに染まり1日で萎んでいきます。
朝に純白に咲く姿は、大地に眠っている純粋な牛や豚のかわいい瞳を思い出します。
そして、太陽に照らされ薄紅に染まる花の姿は、この土地に染まり、決意を新たに生きていこうという人々の姿にも重なります。だんだんと記憶というのは、薄れていきます。
花が咲くことで思い起こし、二度と悲しい出来事が起こらないようにこの花に願いを込めて、川南町内で酔芙蓉を増やそうと2011年から活動しています。

○2013年2月11日 酔芙蓉が川南町花に制定されました。

最近の活動内容

2013年3月24日 酔芙蓉の挿木づくりを川南町ふるさと公園で開催。

町内外から約50人が参加して約300鉢が完成。

参加者が各自持ち帰り、各家庭に植栽。残りは協力団体の川南町SAP会議連合の皆さんに育てていただいております。

☆酔芙蓉の育て方☆

花の時期、8月終わりから11月中旬にかけて毎日八重の花を咲かせます。

朝は白くて、陽射しを浴びるとピンク色に変化し、一日に二度楽しめる花です。

虫に好まれる花ですので、数回の消毒が必要です。

順調に育てば、今年の秋には一輪から三輪の花をつけます。

花の時期が終わったら、二年目以降は根元からバッサリ剪定します。(あじさいの様に)

全校児童・生徒の皆さんには、花が咲くまでの成長と、花が咲いた時の感動を共有していただきたいと思っております。そして、町の花として愛される花になることを願っております。